

■ 放送による聞き取り問題

(編集部注 実際の入試問題では次の枠内の内容が放送されました。)

これから、放送による聞き取り問題を行います。初めに(問題1)から(問題3)までを読んでください。1分後に次の放送を行います。

敬語について述べた文章を2回読みます。メモをとってもかまいません。放送が終了したら、答えを書きなさい。それでは、文章を読みます。

わたしたちは、話をする相手が目上の人や初めて会った人の場合には、敬語を用いて丁寧な言葉遣いをします。また、友達どうしても、授業中に質問や発表をするときなどは、敬語を用いて話をする場合があります。なぜ、わたしたちは、相手や場面によって敬語を用いるのでしょうか。

ある調査において、「どんなときに敬語を使いますか」と質問したところ、「目上の人と話すときに使う」という回答が最も多く、「年上の人や尊敬する人と話すときに使う」という答えがそれに続いていました。このことから、敬語を用いるのは、自分と相手との上下関係を明確にし、相手を敬う気持ちを表そうとしているからだと考えられます。

次に、「知らない人と話すとき」や「みんなの前で発表をするときに使う」という回答がありました。この結果から、敬語は、対話や発表を上手に進め、人間関係をよりよく保とうという意識が働くために使われるといえます。

さらに、「上品さをだしたいときに使う」という回答もありました。これは、言葉の響きや言葉から受ける印象を大切にしているからだと言えます。例えば、「お大事に」「ごゆっくり」のように、「お」や「ご」をつけたほうが、言葉の響きが柔らかくなった丁寧な感じがしたりします。

ところが、『自分と相手との上下関係を明確にする』といっても、相手によって態度や話し方を変えるのはおかしい。人間はみな平等なはずである。」と考える人もいます。また、『対話や発表を上手に進め、人間関係をよりよくしよう』といっても、わざわざ使い方の難しい敬語で話す必要はない。心を通わせるためには、やさしい言葉でわかりやすく伝えることが大切だ」と言う人もいます。さらに、『言葉の響きや印象を大切にする』といっても、敬語は堅苦しい感じがする。今の時代に合っている新しい言葉やよりの言葉を使った方が会話が弾む。」と反論する人もいます。

あなたは、相手や場面によって敬語を用いることについてどのように考えますか。

(問題1) なぜ、わたしたちは、相手や場面によって敬語を用いるのでしょうか。放送で述べている理由を3つ、あなたが大切だと思う順に①～③の番号をつけて書きなさい。(15点)

(問題2) (問題1)であなたが①に書いたことに対して、放送ではどのような反対意見があげられていましたか。その反対意見を書きなさい。(5点)

(問題3) (問題2)で答えた反対意見に対して、あなたはどのように考えますか。400字程度で書きなさい。なお、解答は1行目から書き始め、書き出しや段落を変えたときの空らんおよび、や。や「」などもそれぞれ1字に数えます。(80点)